

THE VOICE

JCI IIZUKA NEWS
2026 JANUARY

Vol. 71



歴史を礎に新たな未来を彩る

TOPICS

2025年度理事長総括／2025年度活動報告【例会委員会／総務・外委員会／ビジョナリー委員会／会員拡大委員会】
2026年度理事長所信／2026年度委員会組織図／委員会紹介／年間スケジュール／メンバー紹介

2025年度 第72代理事長総括

一般社団法人飯塚青年会議所

2025年度 第72代 理事長

小林 奈々

NANA KOBAYASHI



〔台東國際青年商會との国際交流〕
昨年度は大きくなつた柱で対外事業を展開しました。
「つは姉妹」とあります台東国際青年商會
商會との国際交流です。
これまでの相互交流に留まらず、地域に根差した事業を展開することで、我々が紡いできたこの国際的ネットワークの価値を地域へと広げるべく取り組みを行いました。

事業計画

- JCの魅力向上例会の企画・実施
 - JCの魅力や価値を伝える
伝道師育成事業の企画・実施
 - アカデミー会員(新入会員)による
“若者と地域のつながり”事業の企画・
実施時代に即した組織運営・総会運営
 - 台東国際青年商會との継続的な国際交流
 - 新春祝賀会・創立記念・忘年会の運営
 - 飯塚JC全体で取り組む会員拡大
 - 飯塚JC全体で取り組む川井祭運営

2025年度も多くの皆様に我々の活動にご理解と温かいご協力を賜りまことに深じて心より厚く御礼申し上げます。昨年度は「Action～仲間と共に」をスローガンに掲げ一年間活動をさせていただきました。まさに私自身がこれまで青年会議所で享受した学びや先輩諸氏の背中から学んだ姿勢を確に、仲間と共に活動・運動を展開してまいりました。

この関係性は、時代がどのように変化しようとも強固な友情として今後も深く紡がれていくことでしょう。

会員拡大について

具体的には国際ビジネス、とりわけ台湾でのビジネス展開に関心を寄せる2市町の企業様にご参加いただき台東メンバーに向けたプレゼンテーションを実施いたしました。この事業を通じ、塗装青年会議所の存在意義を再確認すると同時に、地域に必要とされる団体としての自信にも繋がりました。また、台東メンバーのビジネスを深く知る機会となり、交流の質を一段と高めるものになったと確

例会での会員交流と会員開発 年間を通じた例会では、会員交流および会員開発を軸にJCYCEの魅力、そしてJCYCE(→メンバー)としての資質を磨くアワーを実施しました。青年会議所には実に様々なメンバーが存在し、その多様性こそが新たな知識や価値観、そして大きな成長をもたらしてくれます。毎月与えられるこの成長の機会こそ青年会議所の大きな魅力であると改めて感じて

「...」シンドウにある通り、青年会議所では「リーダーシップ」の開発と成長の機会が無限に広がっています。どうか傍観者や評論家ではなく、自らアクションを起こし、自分の手でチャンスを掴み取り、我々が住む暮らしの社会により良い変化をもたらすリーダーになってほしいと心から願っています。

昨年度はスバーの拡大意識醸成に力を注ぎました。拡大とは単に人数を増やす事ではありません。地域の未来を担うリーダーを増やし「明るい豊かな社会」を実現する為の基盤強化に他なりません。これから拡大を担うメンバー、そして入会を検討されている皆様にはJCIの魅力と理念に触れていただき共に未来を切り拓く仲間として歩みを進めていただければ幸いです。

列傳の新説



台東国際事午音会上の国際交流



会员技术委员会



ページ一九二 会員会事業



例会予約

2025年度 委員会活動報告

REIKAI COMMITTEE

例会委員会

委員長 遠藤 訓之



今年度、例会委員会では「率先して行動する人間になる」ことを目標に掲げ、年間を通して企画・運営に取り組んできました。また、例会の運営ではメンバー一人ひとりが飯塚青年会議所のまちづくりへの貢献を実感する機会として、例会委員会と連携し、創立72周年記念式典の企画運営を成功させました。この式典は72年の歴史を振り返り、未来への決意を新たにする組織について非常に記念すべき事業です。記念式典の成功は、組織内外に本会の活発な活動と未来の希望を発信する力強い機会となりました。

総務涉外委員会は、目立たないながらも不可欠な総合的な力を持ち、この役割を真摯に果たしました。本年度の各事業の成功を支えてまいりました。

SOMU SYOGAI COMMITTEE

総務渉外委員会

委員長 佐藤 涼介



総務渉外委員会は、組織運営の根幹を担う総務業務と、対外的な信頼関係を構築する顔となる理事長の補佐を行う渉外業務の両面において、その責務を全ういたしました。総務業務においては、本年度の組織運営の要となる全4回の総会運営を満足いくほど遂行いたしました。また理事会に上程される議案については、その体裁や文章、表現の厳密な校閲を担当しました。

渉外業務では、理事長と行動を共にし、各地で開催される重要な式典や事業への参加をサポートいたしました。理事長が満足いくほど遂行した。この活動の裏側では、徹底した事前準備と環境整備に注力しました。訪問先の情報収集、会場の移動や会場での動線確保に至るまで、万全の態勢で臨みました。

そして、本年度の活動のハイライトの一つと最大限の成果を發揮できるよう、徹底した事前準備と環境整備に注力しました。訪問先の情報収集、会場の移動や会場での動線確保を担当しました。

そこで、本年度の活動のハイライトの一つとして、例会委員会と連携し、創立72周年記念式典の企画運営を成功させました。この式典は72年の歴史を振り返り、未来への決意を新たにする組織について非常に記念すべき事業です。記念式典の成功は、組織内外に本会の活発な活動と未来の希望を発信する力強い機会となりました。

総務渉外委員会は、目立たないながらも不可欠な総合的な力を持ち、この役割を真摯に果たしました。本年度の各事業の成功を支えてまいりました。

VISIONARY COMMITTEE

ビジョナリー委員会

委員長 大谷 翼



2025年度は、「若者と地域のつながり」をテーマに掲げ、地域と大学生、企業、行政をつなぐ実践型プログラム「Youth & Visionary～若者の力をこの街に～」を実施しました。本プログラムでは、若者ならではの柔軟な発想力と、地域が培ってきた知識経験が交わることで、新たな価値創出や課題解決の可能性が生まれました。大学生にとっては、日頃関わることの少ない地域企業や行政、地域住民の方々と交流する機会となり、多様な視点に触れる貴重な学びの場となりました。また、自身のビジョンプランを発表し、地域の実務者や専門家から意見を受けることで、アイデアを深めブラッシュアップする実践的な経験を得ることができました。地域側にとっても、若者の斬新な視点は新しい可能性を示し、まちの未来を考えるうえで大きな刺激となっています。今後も、若者と地域が互いに成長し合いながら未来を共にデザインしていく場づくりを進めてまいります。

さらに、式典の厳選さを保つため、先輩方が作成された「飯塚J-Cityコール」を毎月更新し、より良い運営方法を模索してきました。今後も既存や会の状況に合わせた改善と進化を重ねていなければなりません。

1年間、多くなるご協力とご理解をいただき、メンバーや皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

KAIINKAKUDAI COMMITTEE

会員拡大委員会

委員長 井上 詠貴



今年度の会員拡大委員会では、今年のスローガンである「ACTION～仲間と共に～」のもと、全メンバーに対して会員拡大の意識をもつて頂き、飯塚J-City全体で取り組む会員拡大を実現したいという想いで一年間邁進して参りました。その中で3月に実施した事業「ACTION&UNITY～拡大の輪を広げる伝道師育成事業～」ではメンバーが飯塚J-Cityの拡大の現状や洪谷君の講演、飯塚J-Cityの魅力や入会する価値を考えるグループディスクッションに真剣に取組んでいる姿に感心無量でした。当団体に向けての準備や委員会内での打ち合わせなど至りぬ点も多々ありました。皆様のご協力もあり、無事に事業を実施することができ、飯塚J-Cityメンバーの素振りをぜひご覧ください。

共に飯塚J-City活動や事業を通して、企画・運営の喜びや不安を分かち合うことのできる本当に仲間がいる本気で地域により良い変化をもたらすために日夜真剣に語り合える仲間がいる、それが飯塚J-Cityの魅力であり、入会する価値がある団体であると感じました。

最後になりますが、頼りない面も多々あった中で、1年間頑張ったとしての禮をささげたのは、委員会メンバーはむちろんのこと、飯塚J-Cityメンバーのおかげです。心より感謝申し上げます。



温故創新 歴史を礎に新たな未来を築く

一般社団法人飯塚青年会議所
2026年度 第73代 理事長

栗原 一喜
Kazuki Kurihara

はじめに

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚JC)での活動は、生まれ故郷の魅力を改めて知り、「ふるさと」と胸を張って言えるきっかけを与えてくれました。

私は飯塚市で生まれたのですが、生活の拠点は福岡市でした。祖父が飯塚市で営業し、中学時代には通学していましたこともあり、飯塚市、嘉麻市、桂川町(以下、2市1町)のことをどこか懐かしさを感じてきました。福岡市内で企業や自治体の支援業務に携わる仕事をしていた私が家業を継ぐために20年ぶりに飯塚に戻ってきたのは、まさに人生の転機でした。

帰郷と同時に入会した飯塚JCで仲間や2市1町の皆様と新たに出会い、飯塚JCがまちづくりやひとづくりをする意義やすばらしさを体感しました。また祖父が創業した会社が2市1町とともに成長し、50年超経年とご縁をいただいていたことも知り、私のルーツがこの地域にあるという想いを今では誇りを持って語ることができます。

温故創新の精神を胸に

温故創新の精神とは、過去を大切にするというだけではなく、歴史や地域の温もりある人間関係や価値観を確に、新たな未来を拓くための変革を恐れず挑戦する姿勢を表現しています。

前略では企業や自治体のビジョンの実現に向け、信頼関係を築きながら行動することの大切さを学び、共に悩み、考え、汗をかく姿勢が、変革を生み出す原動力であると実感しました。実際、あるプロジェクトで地域住民の声を丁寧にヒアリングし、自治体の皆様と共に課題の解決策を模索しました。現場で多様な立場の方と信頼関係を築きながら進めたこの経験が、温故創新の精神を肌で感じるきっかけとなりました。

飯塚JCの活動も同じではないでしょうか。私たちが原動力となり、成長することで2市1町が成長し、ひいては地域経済や社会の発展に繋がるべく飯塚JCに入会し確信しました。地域はひとつになってかたちづくられ、支えられています。だからこそ、私たちが成長し、活動し続けることがまちの未来を創るのです。私は義理や人情にあふれ、情熱が交差する「ふるさと」と飯塚JCに魅了されました。2026年、飯塚JCは明るい豊かな社会への実現に向け、これまでの歴史と歩みを礎に一致団結し、新たな未来を彩り温故創新を体現します。また仲間と共に成功や失敗を経験し、変革を恐れず挑戦し続け、飯塚JCに入会してよかったと実感いただける年にします。

会員カクダイ大作戦

飯塚JCは2015年に105名の会員を擁した後、100名前後の会員数を維持してきました。新型コロナウイルスの影響を受けた2020年以降、毎年10名前後の卒業生を抱える状況が続き、2025年9月の正会員数は79名うち女性会員は3名です。現役会員の減少は将来のまちづくりに貢献する人財の減少に繋がり、ひいては2市1町を牽引する組織としての存在意義が問われる状況となります。勤務先が2市1町であるものの居住地が活動地域外にある候補者や女性へのアプローチなど視野を広げ、候補者の母集団を増やすこと、先輩方が大切にされてきた後輩を温かく見守り育てる精神をより強化することが課題です。その原因に勧説手法が一部の会員に依存しており整理されていませんことや、新型コロナウイルスの影響以降、交流や開拓力が変化したためではないでしょうか。

飯塚JCは2025年に会員拡大意識醸成事業やセミナーから学びを得ました。2026年はその学びをもとに会員拡大特別室を中心に仕組み化と見える化を推進します。会員全員が主体的に活動できる指針や活動地域外に居住する候補者など視野を広げた候補者リストへアップデートを行うことで、2027年度以降も安定した拡大ができる仕組みを整えます。また資料による勧説のみではなく、まずは例会に参加してもらい、実際に飯塚JCの魅力を体験してもらう。私たちを知ってもらい、一緒に活動したいと思ってもらえるよう見えていきます。最後に準会員や新入会員が早期に退会しないよう、アカデミー委員会のメンバーにプラザーシスターの役割を追加します。アカデミー委員会のメンバーは保証人と連携し、例会や委員会で人間関係づくりをサポートし、出席率を高めます。

仲間を増やし互いに磨き合うことで、新しい発想が生まれ、まちづくりやひとづくりへと繋がる人財や多様な組織が育ちます。会員拡大は未来への投資であり、2市1町の持続可能性を広げる第一歩です。

厳謹かつ有意義な例会の企画と実施

例会はセレモニーや理事長挨拶、各種報告を通じ、理念や活動指針、現状を理解し、意識の切り替えと統一を図る極めて重要な機会です。また組織としての存在意義を再確認し、一人ひとりの使命を明確にする場でもあります。加えて、組織の文化や存在意義、歴史の継承のために、全メンバーがいつ、誰が担当しても、同じ水準で継続的に実施されなければなりません。その実現のために、飯塚JCプロトコルのさらなる周知と活用、更新を進めます。

メンバー全員が相互にコミュニケーションを図る厳謹かつ有意義な例会の企画と運営を実施します。

学んでがっちり！明日からいかそうビジネスアワー

私たちはそれぞれ会社の理解と支援のもと、JC活動や運動をさせていただいている。その理解と支援の上に成り立つものであり、その期待に応える姿勢を常に忘れてはなりません。

だからこそ、毎月実施される例会は、メンバーにとって学びと成長の実感が得られる実りある時間にしたいと考えます。JCが持つ広範なネットワークと多様な人財、情報量を最大限にいかし、社会や世の中の歴史やこれから変化を学び、先読みし、得た知識をどのようにいかすのかを学ぶことができるJCIです。会社や自分で時間やお金、知識や労力といった資源を投じている以上、自己成長というリターンを得て今のビジネスや暮らしに変化をもたらすアワーを刷新します。

交流を通じたリーダーシップ・組織力創新アワー

JCI Missionの日本語訳文に「青年会議所は、青年が社会によりよい変化をもたらすためにリーダーシップの開発と成長の機会を提供する。」とあります。リーダーシップとは目的指向を持った信念と行動力を兼ね備え、周囲の人々に影響力を發揮することができます。つまり、リーダーには目的に向かって、周囲を巻き込みながら行動する力が求められます。ひとを心から動かすには、人望のみでは足りません。人望に加えて、信念と行動力といったリーダーシップの2軸があるこそ、ひとの心に影響を与えるリーダーではないでしょうか。

2025年は、メンバー間の交流をメインとしたアワーを企画・実施し、成長と発展の貴重な機会となりました。2026年は、これまで築いてきた絆をさらに深め、交流の幅をより一層広げます。飯塚JCや全国のJCには、リーダーシップあふれる先輩方やメンバーも多いです。また2市1町には飯塚JC以外にも様々な団体があり、県内、全国、海外に目をやるとリーダーシップを持つ人財や団体もあります。JCにかぎらず、リーダーシップを持った方との交流や連携を通じ、歴史や多様な価値観に触れ「明るい豊かな社会」実現のヒントや2市1町に根付いた実践知を得ましょう。結果、私たちのリーダーシップを深化させ、組織力を創新します。

事業計画

- 会員カクダイ大作戦
- 厳謹かつ有意義な例会の企画と実施
- 学んでがっちり！明日からいかそうビジネスアワー
- 交流を通じたリーダーシップ・組織力創新アワー
- Let's TRY・4・VISION ふるさとWish飯塚市
- ～彩ろう、ユニークな未来～
- まちの魅力創新「かまの変」プロジェクト
- こどもはこのまちの未来だ!宣言「桂川の虎」の巻
- 国際的ネットワークが育む2市1町の可能性
- 新春祝賀会、創立記念、忘年会の企画と実施
- 飯塚JCの魅力を発信!広報活動
- 飯塚JC全体で取り組む会員拡大
- 飯塚JCで支える山笠運営

Let's TRY・4・VISION ふるさとWish飯塚市 ～彩ろう、ユニークな未来～

飯塚JCは2023年にステークホルダーの皆様と共に2市1町が目指すまちの中期ビジョン(TRY・4・VISION)を描きました。そのひとつが「何とかなるまち、何とかするまち」です。このビジョンは「誰もが住み続けたい、住み続けられるまち」を実現するというビジョナリーシティ会議の想いがあり、2026年はこのテーマに挑戦します。

飯塚市は平成の大合併で旧飯塚市、筑穂町、穗波町、庄内町、諫早町の1市4町が合併し、それぞれの地域にあった施設がそのまま残っています。2025年は総合管理計画の再評価のフェーズにあり、施設の統廃合や利活用を進めています。使われなくなつた公共施設、空き店舗や空き家、未利用地といった遊休資産の活用は、維持管理コストの削減、治安や防災面、景観の維持のための課題です。遊休資産が活用されずに残されている原因として、活用に向けた先進的な事例に関する情報や知見が十分に共有されず、蓄積されていないことも一つではないでしょうか。

遊休資産はまちの安心感や魅力を損なう要因となりかねません。しかし、見方を変えれば地域の未来を切り拓く可能性の種です。この遊休資産を整備し、再活用することで、交流拠点や移住者の暮らしの受け皿として機能させることができます。飯塚市には本町、東町、昭和通り、新飯塚、吉原町といった商店街や、長崎街道の歴史ある街並み、空き家情報バンクといった情報源があります。これをいまいし、まちづくりの拠点として様々な活動ができる場や子どもや住民がからんと立ち寄ることができるコミュニティの場、食堂や飲食店、観光者や移住者向け施設など、多様な人が交わり、彩りと温もりのある場のモデルケースを提案します。

本事業はアカデミーメンバーと共に挑戦します。アカデミーメンバーはビジョナリーシティ会議の一員として事業を担うこと、JCを知識として学ぶだけでなく、実践を通じて活動や運動を体得する貴重な機会となります。また仲間と協力し、事業を進める過程を通じて、メンバー間の友情が育まれるものと確信します。現役の先輩会員には、プラザーシスターであるアカデミーメンバーを例会や委員会へ積極的に参加するよう促し、牽引いただきます。またアカデミーメンバーへの育成意識を高め、リーダーとしての資質を育みます。

まちの魅力創新「かまの変」プロジェクト

嘉麻市は人口減少や高齢化、公共交通の利便性といった課題を抱えていますが、歴史や文化、住環境のよさ、豊富な自然や特産品など魅力にあふれています。地域の皆さんにとってその魅力が日常の一部となっているため、改めて意識する機会が少ないかもしれません。その結果、移住した定住人口や観光に来た交流人口にとどまらず、様々なかたで関わる係人会員の創出や拡大に取り組むにいくつあるのではないかと想定します。継続的な発信体制が整っていないことにより、嘉麻市の魅力が外部に伝えられないこと、また嘉麻市の人たちがまちの魅力を共有する地域型の発信にならないことが原因ではないでしょうか。

SNSやwebサイト、YouTubeといったデジタルメディアが発達しても、うまく活用しなければその価値がいきません。インフルエンサーに頼るだけでなく、住民が自分たちの言葉で語る発信や、子どもたちや学生の参画による発信こそ、他地域の人間に届くのではないでしょうか。飯塚JCのみではなく産学官民連携で、今あるまちの魅力を創新する「かまの変」プロジェクトを始動します。関係人口という新しい繋がりの創出と拡大の運動を福岡県のほぼ中央に位置する嘉麻市から県内、全国へ届けます。

こどもはこのまちの未来だ！宣言「桂川の虎」の巻

桂川町は若者が地域に根を下ろすための仕事や暮らしの場が十分に整っているとは言えず、町外への移動が見られます。そこには金融や経済に関する教育の機会が乏しいことや、憧れの人、目指したい人物像や職業といったロールモデルの不在があるのではないかでしょうか。

人口構造の変化が進む中、「誰かが何とかしてくれる」という身の回りの姿勢ではなく、かぎられた人財や資源の中、自ら考え、自立し、稼ぐ力が必要です。政府が2022年に「スタートアップ創出元年」を宣言して以降、スタートアップやユニークノード、アントレプレナーシップという言葉が注目されるようになりました。「アントレプレナーシップ」という言葉は、「社会課題の解決に積極的に取り組む姿勢や能力」を指すと考えられ、起業家に必要とされる能力のひとつです。私は起業を職業の選択肢のひとつ捉えています。子どもが地域社会と交わり、金融や経済を学ぶ機会、会社経営など経験を職業のひとつとして考える機会を創造します。2024年に桂川町では子どもたちにシビックプライドを育む事業を行いました。このシビックプライドを育んだ子どもたちが困難な壁にぶつかったとしても問題を解決するために自ら考え、自立する力というアントレプレナーシップ精神を育み、子どもたちの可能性と将来の夢を引き出します。

国際的ネットワークが育む2市1町の可能性

飯塚JCと台東国際青年商議會(以下、台東JC)の友好関係は50年以上あるにも関わらず、一部のメンバーといつた対内向けの交流となっています。私たちがなぜ台東JCと交流するのか、それが私たちにどう関係するのかといった意義や目的、交流の結果、2市1町にどのような影響をもたらすことができるのかメンバー間や2市1町に共有できていないのが課題です。メンバーの認知度や交流経験が足りず、組織と組織の友好関係や組織と2市1町との関係性が育まれていないのではないかと想定します。

台東市は台湾東部に位置する自然と文化が調和した美しい都市で、観光地としても注目を集めています。2024年に私は台東市に訪問したのですが、自然や文化、人の温かさが調和した癒しのまち2市1町と共に共有できていないのが課題です。台東JCメンバーやシニアの職業や職種は様々で、同業種の方との意見交換や交流を図ることも可能です。国際交流を通して、私たちのビジネスや2市1町での活動や運動にいかせるヒントを得ることができ、異文化理解と視野の拡大に繋がります。

2026年は私たちが台東市に訪問する年です。より多くのメンバーで台東市に訪問し歴史や文化を学び、飯塚JCと台東JCの心を繋げます。ひいては2市1町の皆様が台東市へ行きたくなる、台東市と関わるにつながる国際交流事業を創新し、青年会議所が国際的ネットワークを先導する組織であるということを発信し、2市1町と台東市をつなげます。

最後に

皆さん、JC活動や運動を楽しめていますか。私はメンバー全員が笑顔でJC活動や運動することを想像し、楽しみながら理事長所信を記載しました。

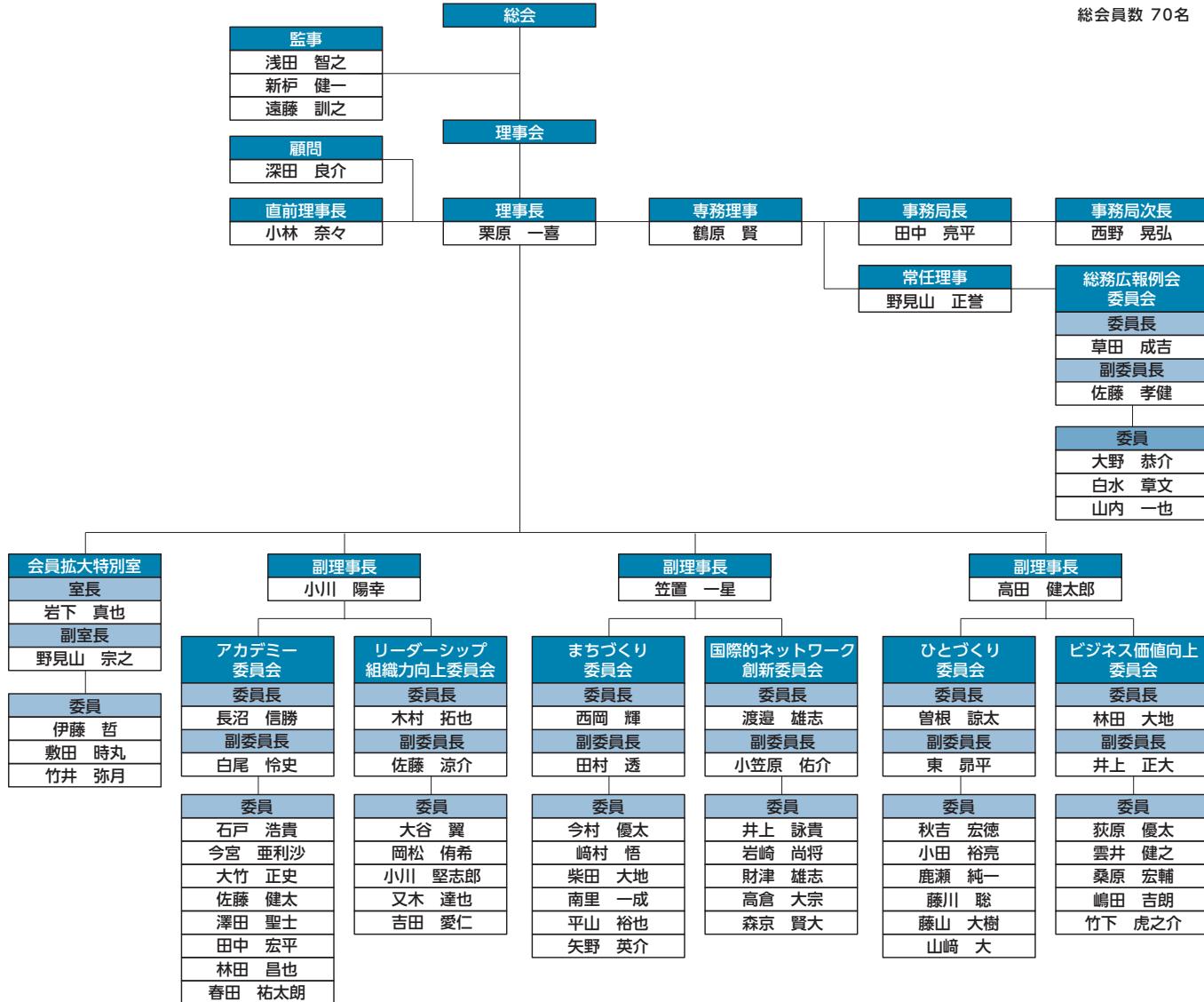
時を駆かずリーダーは、熱い信念をもち、自らが率先して、楽しんで行動することができるひとと思います。飯塚JCにて考えると、私たちが率先して楽しんで行動することで、会員拡大やJC活動や運動が成功し、地域経済や社会の発展に繋がると思います。祖父がよくいっていたことばに「咲いた花見て喜ぶなら良、咲かせた根元の恩を知れ」ということばがあります。美しい花が咲くのは、根が土の中で栄養を吸収し、幹や枝を育てていることから、「目に見える成果だけでなく、それを支えた努力や恩恵に感謝することの大切さ」を説いています。JCも同じではないでしょうか。情熱を持った先輩方がJCを立ち上げ歴史を紡ぎ、2市1町の皆様の協力のもと、私たちは今JC活動や運動をさせていただけております。挑戦の中で壁にぶつかることもあるかもしれません。壁にぶつかったときこそ、私たちの可能性を試す機会と捉えません。飯塚JCは、温かく導いてくださり、困ったときにはいつも相談に乗っていただける先輩方や、夜遅くまでまちのこと、JCのことを語り合える熱い仲間がいます。壁を乗り越えた先にレベルアップし、青年経済人として、また地域のリーダーとして、お金では計り知れない可能性や自己成長が必ず得られます。花を咲かせて終わるのではなく、もっと素敵なお花が咲くことをメンバー全員で楽しむにしつつ、しっかりとした太い根を広げ、彩あふれる新しい未来を一緒に創新しましょう。



ORGANIZATIONAL CHART

2026年度組織図

総会員数 70名



2026年度 出向者

公益社団法人日本青年会議所

【地域グループ】
会務担当常任理事 深田 良介
スポーツ人財育成委員会
大谷 翼
大野 恒介
【組織グループ】
LOM開発委員会
今村 優太
JCPプログラム推進委員会
西野 駿引

【総務グループ】
総務委員会
伊藤 哲
大竹 正史
小川堅志郎
鹿瀬 純一
桑原 宏輔
嶋田 吉朗
野見山宗之
財政審査会議
佐藤 涼介
野見山正誉

【国際グループ】
国際ビジネス推進
委員会
井上 詠貴
渡邊 雄志

福岡ブロック協議会

【LOM連携グループ】	【アカデミーグループ】
LOM支援委員会	アカデミー委員会
委員長 今村 優太	東 昇平
遠藤 訓之	井上 正大
佐藤 涼介	岩崎 尚将
鹿瀬 純一	小笠原祐介
山内 一也	小川堅志郎
	財津 雄志
	竹井 弥月
	南里 一成
	又木 達也

Committee

年間事業フレーム



会員拡大特別室

挑戦、仲間と楽しみ、
未来を切り拓く。

室長

岩下 真也

基本方針



アカデミー 委員会

メリハリ!! やるときややる。
休むときや休む。

委員長

長沼 信勝

基本方針



リーダーシップ 組織力向上委員会

人とひとの付き合いを
大事にする委員会！

委員長

木村 拓也

基本方針



まちづくり 委員会

一人ひとりが主役、
メンバー全員で未来へ挑戦 !!

委員長

西岡 輝

基本方針



国際的ネットワーク 創新委員会

みんなで創る、みんなで決める、
みんなで支える。

委員長

渡邊 雄志

基本方針



ひとづくり 委員会

仕事に遊びにJCに
家族に全てに全力。全力成長!!

委員長

曾根 諒太

基本方針



ビジネス価値 向上委員会

君は次年度の
委員長候補だ！

委員長

林田 大地

基本方針



総務広報例会 委員会

一人ひとりがJCの顔、
全員で伝道師に。

委員長

草田 成吉

基本方針



JCによくある質問を2025年度卒業生に答えてもらいました

Q
&
A

飯塚JC卒業生 突撃取材!!



Q | 会社を立ち上げたばかりですが入会できますか？

はい！できます。会社を立ち上げたばかりでも、両立して活躍しているメンバーも多く在籍しています。

小林 奈々

Q | 会社が飯塚ではないのですが、入会は可能ですか？

入会は可能です。家か会社が2市1町であれば入会できますよ！現在の飯塚JCにも同じような境遇のメンバーが多くいるので心配りません。

古谷 和雅

Q | 公務員（市役所・消防署・警察署の職員など）でも入会できますか？

青年会議所は個人の意思によって入会する団体であり、市役所・消防署・警察署などの公務員であっても、個人としての資格で入会できます。また、公務員には職務上の制約があるため、青年会議所活動が業務に支障をきたさないか、または公務員倫理に抵触しないかを事前に確認することが重要です。公務員の方であってもJCに入会することで、仕事に活かせるもの多々あると思います。

吉原 正和

Q | 人見知りで集団行動が苦手なため自分には合わないのではないか？

私も当初は集団行動や人付き合いが苦手でしたが、どのメンバーも温かく接してくれるので集団行動が苦手でも何も心配ないですよ！苦手だった方も逆に得意になる可能性も十分に秘めている組織です！

國本洋規垂

Q | 家庭・仕事・JCの両立できる自信がありません。

みんな最初から両立できたわけじゃありません。入会後、どうやったらできるか考え、家庭・仕事・JCの時間の使い方などを工夫しながらやってたら、いつのまにかできるよう成長します。時間管理が苦手な方こそ入会をオススメします！

山上 誠

Q | 仕事が忙しいため会議等の参加が難しいため、入会しても迷惑をかけそうです。

会議等の参加は、可能な時に参加していただければ大丈夫です。特に、平日の夜の参加が難しい飲食店経営者やサラリーマンの方などはそのように対応しています。ご自身のできる範囲の活動を目的に沿った形で無理なく活動できる組織です。

久保 勝志

Q | お金がかかる団体と言うイメージがあり、金銭面で不安です。

それなりにお金はかかります。（会費：10,000円/月など）特に、役職につけば、その分会費以外の出費が増えることもあります。しかしながら、40歳までの限られたJC活動の時間の中で、横の深い繋がりが増え、一生懶のお付き合いが生まれます。そこに費やしたお金や時間は、巡り巡って「仕事」や「生活の豊かさ」に繋がっていくことは間違いないと実感しています。

宗 和彦

PROJECT HISTORY

ひとづくり

HUMAN DEVELOPMENT



2017年 わたしLIFE 「命の大切さから育む責任感」

青少年（小学校4年生）に向けて、「命の大切さから育む責任感」をテーマとして掲げ、事業を実施しました。心の授業ということで大変難しいテーマではありました。この授業は読み書きだけではなく、いろいろな事業構築をしていき、動物の命（奪われる命）についての課題に取り組みました。殺処分の現状を学び、福岡県では前例のない学校主体としての保健所見学を行いました。過去に犬たちが処分されていた場所を子ども達が歩き、保護されている犬達を見ました。その経験を通して、子ども達が何を感じ、

何を学べたのかを振り返りました。また、日本レスキュー協会では、殺処分の順番を待っていた犬の龍馬に来もらい、子ども達はふれあいや災害救助体験を受けました。最終の交流会にて保護者の方と受けてきた授業を振り返り共有・共感していただき、4回に渡る事業を終えた子ども達は、今までとは違う感情・行動・発言すべて大きな進化を成し遂げた結果、近い将来この子も達がこの地域に必要な担い手へとなってくれることを信じています。



2024年 ふるさと桂川プロジェクト ～桂川っ子の力で いつまでも続く桂川町～

サステイナブル桂川創造委員会では、将来、桂川町のあらゆる課題を解決していくべく若者を増やすために、中学生のシビックプ



例会 MONTHLY MEETING

2016年 公開例会 ～でつかいご縁～

2016年6月の例会では、テーマを「ご縁」としま

した。「縁」というものは一人では成立しません。青年会議所でのご縁はもちろんどんと、会社や家族や友人とのご縁があつてこそ成立するもので在ると考え、全国各地にて講演活動を行い、また離農の進んだ北海道の農地を借り、都合で引きこもりやニートと呼ばれる若者たちと一緒に農業を行う「耕せにっぽん活動」を行うなど、人材育成の分野で全国に於いて幅広く活躍をされている中村文昭氏を講師としてお招きし、『でつかいご縁』と題してご講演いただきました。

2016年6月の例会では、テーマを「ご縁」としま

した。

当日は、人と人との縁の大さなどについてご講演頂き、多くのメンバーや参加者にもご来場頂けたことで、盛大に開催することができます。

また、参加者より、「大変良かつた」「また飯塚に呼んで欲しい」などとお声かけ頂きました事は、飯塚JCメンバーにとっても大きな励みとなり、学びの多い例会のアワーだったのでないかと思います。

また、参加者より、「大変良かつた」「また飯塚に呼んで欲しい」などとお声かけ頂きました事は、飯塚JCメンバーにとっても大きな励みとなり、学びの多い例会のアワーだったのでないかと思います。



飯塚青年会議所が手掛けた過去の事業

PR

#まちづくつ

TOWN DEVELOPMENT



2017年 ドーンと嘉麻しちやおうぜい

嘉麻市に注目し、今の嘉麻市に存在する魅力を地元で生活をする人々に再度認識してもらい地元の魅力を誇りと感じて生

活できるような事業展開を行いました。

地元の祭りで家族や仲間と楽しむ時間を

過ごすことによって生まれてくる郷土愛

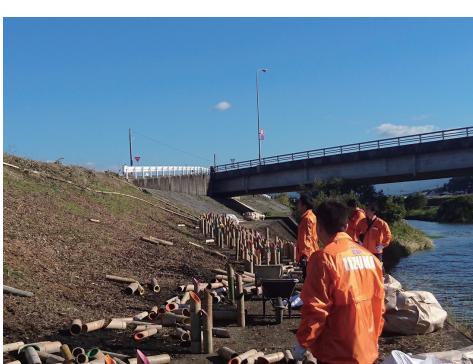
これが今後のまちの発展へと繋がると信じ日中は子供たちに遠賀川の原水地と称される地元の川が遊び場として認識があるのか、現状綺麗と感じるのか、川に触れ遊びを通じて感じてもらいました。夜間

遊びを通して感じてもらいました。夜間

は嘉麻市の誇りとなる日本山岳遺産に認定された嘉麻アルプスをデザインした灯明を作成しフィナーレに花火大会を行い多くの人達に有効活用されてなかった場所に来場していただき灯明や嘉麻市の魅力をPR動画で伝え今後のまちの発展の可能性を示すことに繋がる事業が出来ました。

は嘉麻市の誇りとなる日本山岳遺産に認定された嘉麻アルプスをデザインした灯明を作成しフィナーレに花火大会を行い多くの人達に有効活用されてなかった場所に来場していただき灯明や嘉麻市の魅力をPR動画で伝え今後のまちの発展の可能性を示すことに繋がる事業が出来ました。

二三ヶバイク選手権・自転車関連の展示販売や試乗、また地域企業や自衛隊、警察、消防などの関係車両の展示による「サイクリングエキスポ」といった自転車関連によるまち興しは、お子さまから、お年寄りの幅広い世代の方々からの参加をいたしました。また、糸余曲折ありながらも参加者や関係者からの「よかったです!」という一言は何ものにも代えがたい賜物となりました。



2019年 New possibilities ～新たな可能性～

嘉麻市・飯塚市・桂川町の自然環境と地域の魅力を発信するために参加者500名を超えるサイクリングイベント「ツール・ド・KAMA 2019」を開催しました。

また、同時開催として3歳児から5歳児までの子供たちが順位を競い合う「ツ



二三ヶバイク選手権・自転車関連の展示販売や試乗、また地域企業や自衛隊、警察、消防などの関係車両の展示による「サイクリングエキspo」といった自転車関連によるまち興しは、お子さまから、お年寄りの幅広い世代の方々からの参加をいたしました。また、糸余曲折ありながらも参加者や関係者からの「よかったです!」という一言は何ものにも代えがたい賜物となりました。

二三ヶバイク選手権・自転車関連の展示販売や試乗、また地域企業や自衛隊、警察、消防などの関係車両の展示による「サイクリングエキspo」といった自転車関連によるまち興しは、お子さまから、お年寄りの幅広い世代の方々からの参加をいたしました。また、糸余曲折ありながらも参加者や関係者からの「よかったです!」という一言は何ものにも代えがたい賜物となりました。

国際

2016年 二三ヶっこじカップ 国際女子テニス大会

地域活性化を図るうえで「テニスの町」という特色意識を底上げする。」を目標に国際女子テニス大会を開催しました。その中でテニス協会やテニス関係者の方々、協賛企業・外部協力者の協力を得ることが出来た事こそ、目標を少しでも理解していました。また、ウェブ・YAHOOニュース・新聞・フリーペーパーなどの広報や国内外選手からのエンブリー、その選手達によるブログアップなどからこの飯塚という地名・テニスの施設を含めた環境、そして飯塚この価値を発信する事が出来たと共に特色意識を底上げする事が出来たのではないかとも感じました。一週間という長丁場な開催運営、それまでの準備、更には悪天候と本当に様々な問題がありましたが、飯塚JCTメンバーや多くの関係者の方々のお陰で、テニス大会を開催し、成功することができました。そのかいあって行政もテニスに関する様々な改善やご協力をしていただけれど、ようになりました。

この事業を通じ地域活性に繋げる為のスタートがきかれたのではないことが感じることができた事業でした。



京都会議・福岡ブロック大会・ASPAC・サマーコンファレンス・九州コンファレンス・FUKUOKAコンファレンス・全国大会・世界会議

01

京都会議

京都会議とは、毎年1月に公益社団法人日本青年会議所(日本JC)が開催する

新年度のスタートを象徴する会議のことです。1966年のJCI世界会議を契機として始まり、全国から約2万人のメンバーが集まり、1年間の活動方針を共有し、組織全体の方針決定が行われます。通常総会、理事会、フォーラム、会頭所信演説など多彩なプログラムで構成されています。



02

福岡ブロック大会

福岡ブロック大会とは、福岡県内の全22青年会議所のメンバーが集まり、地域課題の解決や運動の発信、会員同士の交流を目的として開催される、福岡ブロック協議会最大の事業です。単なる会議ではなく、地域住民にも向けた事業も含まれており、福岡県の活性化や将来に向けた運動を推進する機会となっています。



03

ASPAC

ASPACとは、公益社団法人

日本青年会議所(日本JC)が所属するアジア・太平洋地域の会員が集まる「JCIアジアパシフィックエリア会議(Asia Pacific Area Conference)」の通称です。これは、世界を4つのエリア(アジア・太平洋、北米・ラテンアメリカ、アフリカ、ヨーロッパ)に分けたうちの1つで、4つのエリア会議の中で最も参加人数が多く、大規模な大会です。2025年はモンゴルのウランバートルで開催され、2026年はなんと日本の新潟県で開催が予定されています。



04

サマーコンファレンス

サマーコンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所(日本JC)が主催する、日本JCの1年で最大の運動発信の場となる大規模なイベントです。政治・経済・社会など多様な分野のフォーラムやセミナーが開催され、各界の有識者の話を聞くことができます。また、同時に開催される「サマコンフェス」では、地域課題の解決に向けた体験型コンテンツや、家族で楽しめるイベントも行われます。2025年は神奈川県横浜市のパシフィコ横浜で開催されました。



05

九州コンファレンス

九州コンファレンスとは、公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会が主催する、九州地区の青年会議所(JC)メンバーと市民を対象にした

年1回の会議(大会)です。九州地区内の運動の成果を共有し発信する目的で開催され、運動意識の向上や地域課題の解決を目指しています。2025年は宮崎県の延岡市で開催されました。2026年は大分県中津市で開催が予定されています。



06

FUKUOKA コンファレンス

FUKUOKAコンファレンスとは、福岡県内の青年会議所が集まり、活動の成果を共有し、未来に向けた課題解決やメンバーの成長を目的とする会議(大会)のことです。これは「福岡ブロック協議会」が主催する年次の集大成となる事業で、各地域の課題解決に向けたフォーラムや、ビジネス機会を最大化するビジネスマッチング、事業の成果を競うアワードなど、様々なプログラムで構成されています。



07

全国大会

全国大会とは、公益社団法人日本青年会議所(日本JC)の会員が日本各地か

ら集まり、地域や社会をより良くするための活動意識を高める年1回の大会です。会員同士の交流、成功事例の共有、スキルアップの機会を提供し、1年の運動の検証と次年度への継承を目的としています。2025年は佐賀県で開催され、2026年は兵庫県神戸市で開催が予定されています。



08

世界会議

世界会議とは、公益社団法人国際青年会議所(JCI)

が年に一度開催する、世界中の青年会議所メンバーが集まる国際会議です。会議では、青年経営者などが集まり、重要な決定を行う総会や、社会課題について議論するフォーラム・セミナー、各国メンバーとの交流会やイベントが行われます。目的は、国際青年会議所としての諸会議を行うとともに、会員の資質向上や国際的な友情を育むことです。2025年はチュニジアのチュニスで開催され、2026年はフィリピンのクラークにて開催が予定されています。



JCIは国際青年会議所(Junior Chamber International)のことです、公益社団法人日本青年会議所は、そのJCIに加盟している日本の国際青年会議所です。したがって、JCIは世界的な組織、日本JCはその中の日本における組織、さらに全国各地にJCIに加盟するローカル組織である各地青年会議所(LOM)があります。

SCHEDULE

年間スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新春祝賀会 通常総会 京都会議			会員拡大特別室事業(仮)	ビジネス価値向上委員会公開例会(仮)	ASPAC(日本／新潟) 福岡ブロック大会(久留米)	サマーコンファレンス 創立記念式典	九州コンファレンス(大分／中津)	FUKUOKAコンファレンス ひとつづくり委員会事業(仮) 国際的ネットワーク創新委員会事業(仮) まちづくり委員会事業(仮)	アカデミー委員会事業(仮) 全国大会(兵庫／神戸)	忘年会 通常総会 世界会議(フィリピン／クラーク)	

例会(1月～11月) ※月1回開催

各種会議・大会に参加したメンバーの声



白尾 恵史

京都会議に参加

2025年に初めて京都会議に参加しました。まず驚いたのが、全国からたくさんの方々が来ていたことです。改めてJCのスケールの大きさを感じました。そして会頭所信演説では会頭の熱い想いを聴き、これからの活動や運動、地域社会にこれまで以上に貢献しなければと感じました。



野見山 宗之

ASPACに参加

2025年度ASPACモンゴル大会に参加し、世界中のJCメンバーと交流いたしました。言語や文化は異なれど、同じ志を持つ仲間が世界にいると実感し、深く感動いたしました。今回は初めての国際舞台への参加でしたが、JCのネットワークの強さを実感し、大変勉強になりました。



佐藤 涼介

世界会議に参加

世界会議は世界中から何千人ものJCメンバーが集うプログラムです。本年はチュニジアの首都チュニスの地で開催されました。5日間に及ぶプログラムは単なるイベントではなく、リーダーシップの可能性を呼び覚まし、グローバルなネットワークを広げ、新たな自分を発見し、イノベーションと文化、そして祝祭を心ゆくまで満喫できる、特別な変革の起点となるものでした。知らない場所へ行き、知らないものを見て、知らないものを食べ、そして知らない人と話す。すべてが貴重な体験となりました。

トライ・フォース・ビジョン

TRY・4・VISION



詳細はコチラ▼



TRY・4・VISIONとは、飯塚青年会議所(2023年 担当者 伊藤 哲)を筆頭に飯塚市、嘉麻市、桂川町の方々と共同で考えたまちの中期ビジョンです。2024年～2028年までの5年間で取り組む4つの中期ビジョンを表しています。現在、飯塚青年会議所はこのビジョンに向かって、活動や運動を行っております。4つの中期ビジョンは下記の通りです。

何とかなるまち 何とかするまち

「○○すべき、○○しなければならない」
という考え方で縛られるのではなく、
心の余裕のある大人達が多い地域になっている。
誰でも住み暮らしやすいまちになっている。

2026年 担当
長沼 信勝

2026

トライ・フォース・ビジョン ビジョンの目指す未来

まちの文化を増やす ～既存のものも新しいものも～

地域の既存の文化がより活性化し、
また新しい文化の開発が進んでいる状態。
地域外からの観光客が増え、
この地域の交流人口が増加し、
このまちに多様な考え方や価値観が取り込まれる。

Comming Soon!!

地域でこどもを育て スマイリーあふれるまち

地域のこども達が未来に向けて
夢を描けるような豊かな心を育んでいる。
子育て世代にとっても安心して
子育てを行えるまちになっている状態。

2024年 担当 **小林 奈々**



2024

若者と地域のつながり

このまちで住み暮らす若者と
地域との交流が行われており、若者が持つ
価値観やトレンドをこのまちに反映し、
若者が移住し住み
暮らしやすいまちになっている。

2025年 担当 **大谷 翼**



2025

Jc Mizuka CLUB ACTIVITIES

一般社団法人飯塚青年会議所 2026年度 部活紹介



野球部

監督: 笠置 一星

野球部では経験者だけでなく野球を経験したことのない未経験者も含めて現在22名程在籍しております。LOMメンバーだけではなく野球を通じて他LOMの方々と交流を深めることもできます。2026年度も最高なチームを作り上げていきたいのでメンバー大募集しております!!是非、入部して頂いて第二の青春の汗を共に流していきましょう!!



じゃがいもクラブ(ゴルフ部)

会長: 石戸 浩貴

じゃがいもクラブは、ゴルフというスポーツを通じて現役会員とOB会員との交流を深めることを目的に活動しています。ゴルフのプレーだけでなく、その後の懇親会も含めて企画・運営を行い、より強い絆を築ける場を提供しています。また、各地の青年会議所の皆さんと競技ゴルフを行う機会もあり、腕に自信のある方にも挑戦いただける環境を整えています。ぜひ積極的にご参加ください。



飯塚青松会(茶道部)

会長: 高倉 大宗

飯塚青松会は2016年に発会し、本年で10周年の節目の年を迎えます。茶道を通じ青年経済人としての礼儀や姿勢・作法を学び、初釜、花見茶会、茶碗作りや毎月のお稽古など活動を行っております。飯塚青年会議所OBの方もメンバーとして活動しております。本年は10周年記念事業を開催予定なので、多くのメンバーで盛り上げて行きたいです。



サッカー部

監督: 浅田 智之 キャプテン: 井上 謙貴

サッカー部は経験者だけでなく、未経験の方も多く在籍しています! サッカーというスポーツを通じて楽しみながら交流を深め、活動しております! また、チームには現役だけでなく卒業された先輩方も多くいるため、コミュニティの一つとしても魅力的です! 大会成績としては福岡大会や九州地区大会では優勝経験もあり、最高のチームです! サッカー部では、サッカー経験者、未経験者でも大歓迎です! そこのあなた! 一緒にサッカーやりましょう!

MEMBERS



嶋田 吉朗

学校法人嶋田学園
2024年7月入会



西野 晃弘

(医)ユーアイ西野病院
2022年12月入会



山崎 太

有きど葬祭
2022年4月入会



矢野 英介

中華そば麺すけ
2021年11月入会

不動産業



今村 優太

(有)やしま不動産
2020年10月入会



吉田 愛仁

(株)JIN
2023年3月入会

農業



岡松 侑希

(株)みゆき
ストロベリーフーム
2023年3月入会



岩崎 尚将

(株)エレコス
2025年7月入会

製造業



萩原 優太

(株)Step
2023年12月入会



浅田 智之

ダイワ印刷(株)
2012年7月入会

飲食サービス業



木村 拓也

T.K Garage
2022年11月入会

草田 成吉



草田 成吉

(株)キヨーワ
ホールディングス
2020年4月入会



財津 雄志

志ののめ
2025年10月入会



秋吉 宏徳

鮨処 のり助
2023年8月入会



佐藤 孝健

2023年3月入会

野見山 宗之



野見山 宗之

(株)ティーティース企画
2024年11月入会



林田 大地

林田コンクリート工業(株)
2023年3月入会



今宮 亞利沙

ふわこっべ福岡飯塚店
2026年1月入会



曽根 謙太

福岡県議会議員
江藤秀之事務所
2021年8月入会

医療・福祉



伊藤 哲

(株)WORKERS CARE
2018年10月入会



鶴原 賢

鶴原液化ガス(株)
2018年7月入会



柴田 大地

肉風俗 裏道
2023年7月入会



田村 透

(有)田村環境開発工業
2024年8月入会

桑原 宏輔



桑原 宏輔

坂本医院
2024年9月入会



白尾 恵史

大野商事(有)
2024年7月入会



深田 良介

(有)深田環境衛生
2014年5月入会

白水 章文



白水 章文

飯塚みらい歯科
2023年8月入会



大竹 正史

LOCA99
2024年4月入会



雲井 健之

台所 クモイ三十五
2023年7月入会



藤川 聰

BoschCarService
藤川自動車(株)
2017年7月入会

高倉 大宗



高倉 大宗

たかくら整骨院
2023年4月入会



小林 奈々

(株)プリンス興商
2015年9月入会



藤山 大樹

BAR SHIMAUMA
2023年7月入会



山内 一也

(有)ネットワーク
2021年11月入会

COMMITTEE

2026年度 一般社団法人飯塚青年会議所メンバー

建設・建築業



竹井 弥月

(株)フォワード
2025年4月入会



佐藤 健太

佐藤測量設計(株)
2023年12月入会



林田 昌也

(株)昌和運輸
2026年1月入会

東 昂平



昂工業(株)
2025年8月入会

田中 宏平



田中空調設備
2024年7月入会

金融業・保険業



石戸 浩貴

(有)東和建設
2022年6月入会



長沼 信勝

友栄土木(株)
2024年7月入会



井上 詠貴

ソニー生命保険(株)
2024年6月入会

小売業



高田 健太郎

たかた呉服店
2019年11月入会

岩下 真也



(株)イワデン
2022年7月入会

南里 一成



(株)南里住建
2025年9月入会



井上 正大

飯塚信用金庫
本店
2025年4月入会

田中 亮平



(株)片島屋
2019年8月入会

遠藤 訓之



親和電設工業(株)
2014年8月入会



西岡 輝

友信建設(株)
2022年12月入会



鹿瀬 純一

(株)東海エース保険
2021年6月入会

栗原 一喜



(株)久栄
2022年10月入会

小笠原 佑介



九州特種電線(株)
2025年5月入会



野見山 正誉

(有)光邦水道工事店
2023年6月入会



新柳 健一

メットライフ
生命保険(株)
2013年8月入会

佐藤 涼介



(有)佐藤商店
2022年1月入会

小川 陽幸



オガワ設備工業(株)
2022年5月入会



春田 祐太朗

(株)春田建設
2019年4月入会



平山 裕也

(株)福岡銀行
飯塚支店
2023年12月入会

渡邊 雄志



(株)渡邊硝子建材
2023年5月入会

小田 裕亮



(有)明豊舗道
2017年12月入会



森京 賢大

(有)エム・ライン
2024年6月入会



又木 達也

(株)西日本シティ銀行
飯塚支店
2025年8月入会

教育・学習支援

笠置 一星



(有)笠置建工
2020年4月入会

専門・技術 サービス業



小川 堅志郎

小川堅志郎
税理士事務所
2025年7月入会

輸送業



敷田 時丸

福岡観光バス(株)
2019年8月入会

大谷 翼



(株)LIGACADEMY
2021年5月入会

崎村 悟



ふみな工業(株)
2019年7月入会

澤田 聖士



スタートアップ
ポップコーン(株)
2024年4月入会



温故創新

歴史を礎に新たな未来を彩る



Homepage



Facebook



Instagram

彩あふれる新しい未来を
一緒に創新しませんか？

一般社団法人飯塚青年会議所 会員募集中

青年会議所は20歳から40歳までの情熱ある青年の団体です。

「明るい豊かな社会」の実現を目指す青年会議所運動の基本の一つには、地域の産業を担う青年経済人が人的ネットワークを広げ、さらには青年会議所の各種事業を通じて切磋琢磨し、厳しい経済情勢のなかにあっても力強いリーダーシップを発揮できる“人財”を開発することにあります。「一人でも多くの、志を高く持つ仲間に出会いたい」との一念で会員拡大事業に取り組んでおります。メンバー一同、共に夢を語り合える仲間として、青年会議所の扉を開いて頂けることをお待ち申し上げます。

対象者：飯塚市、嘉麻市、桂川町に住所または勤務地を有する20歳から37歳までの方。
詳しくは下記一般社団法人飯塚青年会議所事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

一般社団法人飯塚青年会議所事務局 〒820-0033 福岡県飯塚市徳前25番地 飯塚卸商協同組合会館2F
TEL 0948-23-0292 FAX 0948-24-3471 E-mail info@iizuka-jc.com http://www.iizuka-jc.com/
(編集:2025年度会員拡大委員会 委員長 井上詠貴)